

材を見つけよう！

元横浜市立大岡小学校校長 竹田 惇子

材は身の回りに豊富にあります。しかし、学習対象の材にするためには、それが学びの価値につながるかどうかを見極めることが重要です。身の回りをじっくり見まわして、探究していけそうな材をリストアップしましょう。そして、「材の選定のポイント」(p. 1『子どもが本気で取り組む単元づくりをしよう！』参照)を参考に、学習対象の材となるか検討しましょう。

横浜市でこれまでに取り上げられ、子どもの本気の姿が見られた材を紹介します。テーマは例としてあげました。同じ材でも探究の仕方でもテーマも変わります。子どもの発達段階を考えて選ぶことも大切です。なお、交流と地域は、すべての材に共通するテーマです。テーマ例に、この2つの視点を加えて見てください。

材	内 容	テーマ例
地場野菜	地元で生産される野菜を農家と交流して栽培し、レシピを開発したり、よさを発信したりする。地産地消をテーマに店やまちの人と交流する。	食 キャリア
郷土カルタ	まちの魅力を調べ、自分たちがとらえたまちのよさをカルタとして表し、学校やまちの人と楽しむ。国語との関連を図る。	情報
写真	まちの魅力を、写真を通して伝える。写真を撮ることを通して、まちのものや人を見つめなおし、再認識する。写真展での交流や写真集の発行が考えられる。	情報 キャリア
和菓子・練り切り	和菓子のよさに気づき、四季やまちのよさを表現する和菓子を作り、お茶会などでまちの人と交流する。	食・キャリア 伝統
紙飛行機	よく飛ぶ紙飛行機を目指して工夫を繰り返す。地域の達人から教えていただいて作り方や飛ばし方を追求し、大会を開くなどして、まちの人と交流する。	ものづくり
お囃子・和太鼓	地域に伝わる和太鼓やお囃子の演奏に挑戦し、まちの行事に参加してその成果を発表する。達人に教えていただいて技を学び、伝統芸能のよさを味わう。	伝統文化 芸能
絵手紙	まちの四季や自然の魅力、学校のよさ等を絵手紙に表し、まちの人や他の学校の友達等と交流する。絵と言葉に込められた思いのやり取りを楽しむ。	情報 学校
草木染め	身の回りの草木を使って染物をする。自然の色を楽しみ、自分の目指す色や染め方に向けて、工夫を繰り返す。作品は地域施設等で展示をする。	自然 ものづくり
動画	学校やまちのよさを、ストップモーション、クレイアニメなどの動画で表す。専門家から技を学び、質を上げる。入学説明会や地域の集まりで上映する。	情報 学校
バーチャル花火	バーチャルで思いや願いを込めた花火を作成し、周年行事や地域、保護者の会等で披露する。花火師、プロの方と関わると学びが深まる。対象学年は高学年。	情報 学校
炭	竹や松ぼっくりなどを使って炭を作る。学校や地域に竹林がある場合は導入がスムーズにできる。炭の効能を添えたプレゼントで交流する。	環境 ものづくり
焼き物	地域の土を入れたオリジナル焼き物を作る。専門家と関わり、製作の過程で出会う様々な課題を解決していく。生活の中で生きる焼き物の魅力を味わう。	ものづくり
ジャム	学校・地域など身近にある果実からジャム作りをする。美味しいジャムにするための工夫を繰り返す。瓶のラベルやレシピを作成するのもよい。	食 ものづくり
〇〇商店街	商店街の活性化を目指し、ポスター、ガイドブック、絵地図などで魅力を伝える。商店主や店の特色等、自分達だからこそ伝えられる情報が大事。	情報 キャリア
ビオトープ	校内の池などに、水生植物を育て、チョウやトンボなど地域の生き物呼び込む。自然環境と生物の関係について追求する。水質管理や維持に注意が必要。	環境 自然
地域情報誌	まちの魅力を、自然や景観、歴史、施設、飲食店など多様な観点から考え、情報誌としてまとめる。まちに住む自分たちだからこそその観点が大事。	情報

〈その他〉

豆腐・パン・壁画・風呂敷・出汁・折り紙・大道芸・落語・〇〇公園・すごろく・手作りクレパス